

seeder 関係

seeder コマンドを使う時のタイミング

参照元データを作成する機能が出来上がる前にデータを出力や参照する機能が出来上がった際に動作テストをしたい時などに使うテストデータを使う。

基本コマンド

`php artisan make:seeder (対象のテーブル名)TableSeeder --class=(対象の seeder ファイルの class 名の指定)`

例

`php artisan make:seeder UserTableSeeder --class=UsersTableSeeder`